特集

リスニング力もアップ！

4つの「読むトレ」で伸ばす

英文速読力

日本人は「英語の読み書きはできるが、聞く・話すは苦手だ」とよく言われますが、これは本当なのでしょうか。ある程度の速さで、英文をちゃんと「読めている」人は、実際にはそれほど多くないかもしれません。

そこで、今回は、英文の速読力を鍛えるために効果的なトレーニング法を紹介していきます。英文を速く読めるようにするには、実は、同じくインプット系のスキルである「リスニング」を同時に鍛えるのが効果的です。リスニングとリーディングを同時に鍛える、一挙両得のトレーニングに、ぜひチャレンジしてみてください！

執筆：EE編集部



写真：Dragon Images / Shutterstock.com

☞速く読めないのはなぜ？

「なぜ速く読めないのだろう」と悩んでしまっている方、以下のような原因に思い当たる節はありませんか。

① 語彙（ごい）力の不足

リーディングであれリスニングであれ、「わからない単語」があまりにも多ければ、当然、内容をスムーズに理解することはできません。

ボキャブラリーには「アクティブボキャブラリー」と「パッシブボキャブラリー」の2種類があります。アクティブボキャブラリーは「自分が能動的に使いこなせる語彙」のこと。アウトプットする際に、ある程度自信をもって使える語彙です。

これに対して、「受動語彙」とも呼ばれるパッシブボキャブラリーの方は、「読んだり聞いたりすれば意味はわかるが、自分で使いこなすことはできない語彙」のことです。スムーズに英文を読めるようになるには、パッシブボキャブラリーの量がものをいいます。「どこかで見たような気がするし、なんとなく意味もわかるなあ」というレベルでも構わないので、積極的に語彙を増やしていくことが大切です。

② 文法力の不足

英文の文法構造を正確に捉えることができなければ、当然ながら、きちんと読むことができなくなってしまいます。どこまでが主語（主部）になっていて、どれが文の述語動詞で、どの語句がどの語句を修飾しているか……などのような文法関係を瞬時に捉える能力を身に付けておくことが必要なのです。

なお、「文法力」には、こんな「読みの修正」をする能力も含まれます。以下の文の意味を考えてみてください。

The government plans to raise taxes were defeated.

The government plans to raise taxesまで読むと、「政府は増税することを計画している」というふうに解釈できます。ところが、これに続けてwere defeatedという動詞が続いています。つまり、「The governmentが主語でplansが動詞」という「読み」は間違っていたのです。この時点で「読みの修正」を行います。正しい解釈は「The government plans to raise taxesが主語で、were defeatedが動詞」であり、「政府の増税計画は、頓挫させられた」という意味の文なのです。もちろん、ここまで嫌らしい文にはなかなかお目にかかる機会はないと思いますが、英文を読んでいて、自分の読みが間違っていると気が付いたときには、柔軟に修正をする能力がどうしても必要になってきます。

ちなみに、このような「素直に読んでいると、当初の読みが間違っていることがわかって、解釈できなくなってしまう意地悪な文」のことを「袋小路文」（garden-path sentences）と言います。

③「カタマリ」で読めていない

英文を「単語単位」でインプットしてしまっていると、とても効率が悪くなります。意味のカタマリごとに、まとめてインプットすることが不可欠です。

なお、「意味のカタマリ」を見抜くには②の文法力が欠かせません。例えば、こんな文があったとします。

I put my contact lenses in in the morning.

inが連続していて、どのような「カタマリ」が形成されているのかがよくわからないかもしれません。実は、1つ目のinはput...in（…を入れる）という句動詞のin（副詞）、そして2つ目のinは前置詞で、in the morning（朝に）という前置詞句の一部です。これが見抜ければ、以下のように、正しく「カタマリ」に分けることが可能になります。

I put my contact lenses in / in the morning.
私はコンタクトレンズを入れる / 朝に。

④「返り読み」をしてしまっている

例えば、I have a friend who works for a bank.という文を「私には銀行で働いている友人がいます」という、自然な日本語訳を脳内で完成させてから理解してしまっていませんか。これは、who works for a bankという関係詞節のところをインプットしてか